プラットフォーム学連続セミナー vol.10

『ロボットとプラットフォーム学』

～人間とロボットがさまざまな空間をまたいで関わり合うような未来とは～

ロボットクリエーター高橋智隆氏と京都大学のヒューマンロボットインタラクション研究者がロボットと関わり合う人々の未来を議論する

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

情報学と複数領域を連携させ、新しい価値創造を目指すプラットフォーム学。このプラットフォーム学を扱う京都大学「社会を駆動するプラットフォーム学卓越大学院プログラム」では、プログラムの一環として毎月セミナーを開催しています。第10回となる今回は、人間とロボットが、さまざまな空間をまたいで関わり合うような未来の可能性を議論します。SDGsのゴール9「産業と技術革新の基盤をつくろう」も見据えつつ、ロボットとわれわれ人間の関係性やインタラクションは現在の研究や社会実装においてどの程度進んでいるのか、より望ましい未来のために必要となる技術革新やデータプラットフォームなどのシステム基盤はどういったものかなどを識者が語り合います。

〈イベント概要〉

- ●開　催：2022年4月28日（木）
- ●時　間：17:15～19:15（履修生は19:45終了予定）
- ●主　催：京都大学プラットフォーム学卓越大学院
- ●協　力：京大オリジナル株式会社／株式会社角川アスキー総合研究所
- ●事前応募制／オンラインセミナー（Zoomウェビナー形式※）

※セミナーご参加には、お使いのパソコンやスマートフォンで、Zoomへ接続できる環境を事前に準備いただく必要がございます。

お申し込みはこちら
（4月27日12時締切）

登壇者

高橋智隆 氏　株式会社ロボ・ガレージ 代表取締役社長

神田崇行 教授　京都大学大学院 情報学研究科 社会情報学専攻

原田博司 教授　京都大学 プラットフォーム学卓越大学院 プログラムコーディネーター

ほか、セミナーテーマに関連する企業担当者の登壇を予定

KUSP
Kyoto University School of Platforms

京都大学
プラットフォーム学卓越大学院